

「経常収支比率」は 前年度よりやや改善

以上のような歳入・歳出の平成26年度予算になりましたが、自治体の財政基盤の弾力性を判断する指標となる「経常収支比率」は⁶6.6%（前年度²7.2%）となり、⁹0.6ポイント改善しました。なお、この比率は「臨時財政対策債」という国からの借入収入を含めて計算したものであり、臨時財政対策債を含めないで計算した経常収支比率は⁸9.8%で、前年度より⁹1.5ポイントの改善になります。

国会議員への働きかけ が大きな効果

経常収支比率が改善した背景には、借入額を減額したことと、市税以外の国からの補助金や基地交付金が前年度並みに確保されたことがあります。後援会便りの前号（22号）でも紹介しましたが、福生市長より『防衛省の基地交付金が減らされると福生市の財政が立ち行かなくなる。各議員は知り合いの国会議員に個人的に働き

コラム「経常収支比率」

歳出のうち人件費や公債費など経常的な支出に、市税などの経常的収入がどの程度充当されているかを示すもので、その自治体の財政構造の弾力性を判断する指標となっています。比率が高いほど財政の弾力性が失われ、一般的に80%を超えると財政の硬直化が進んでいると言われています。経常収支比率の全国平均は90.4%です。

加藤市長 「施政方針演説」の中で謝意

確保を要請せよ』との激に対し、杉山議員は、即、赤池参議院議員に電話し訴えました。その結果、「前年度並みの交付金を確保した」との連絡を受け、市長に朗報したところで。このように、福生市理事者と市議会議員および国会議員の三者一丸となった働きが、基地交付金の昨年度並み確保につながったと思っています。

このことについて、加藤市長は3月議会の「施政方針演説」の中で、次のように杉山議員や関係議員に謝意を表しました。

加藤市長 施政方針演説（一部）

（前略）

今後も基地関係補助金の獲得に全力を傾注してまいる所存でございます。

そして、昨年の行政改革推進会議において、「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の平成26年度国予算の減額が議論された際には、議員各位にも国会議員への働きかけをお願いし、御協力をいただきました。おかげをもちまして減額が回避され、前年度と同額の予算が確保できる見込みでございます。この場をおかりし、改めて御礼を申し上げますとともに、今後も御協力をお願いいたしたく存じます。

（以下、略）

歳入の大半を補助金や交付金に頼らざるを得ない状況の中で前年度より臨時財政対策債からの借り入れを減額し、経常収支比率を改善し、福祉・教育に重点をおいた平成26年度予算について杉山議員は『補助金・交付金に頼っている福生市として評価できる満足のいく予算と思っっている』と述べています。

「中学校給食」の実施が決まる。

3月議会において正和会などが要望していた「中学校給食の実施」が決まりました。中学校の昼食対策については、現行の「弁当併用ランチルーム方式」の導入目的や効果が十分に達成されたと評価し、食物アレルギーへの対応や定住化対策の充実の観点から、中学校給食を実施することになったものです。

中学校給食実施が決まった最大の要因は、福東地区の国有地を無償で「災害時対応施設」の建設予定地として貸与されることになったからです。国有地の貸与には「政令」の改正が必要でしたが、市長や議員の強い要望により政令が改正され、貸与が実現しました。「災害時対応施設」は、災害時には炊き出し施設として平時には小・中学校の給食センターとして機能することになります。

計画は26年度に建設地周辺の樹木調査、27年度に設計図、28年度に建設工事着手、29年4月に運用開始予定となっています。

杉山議員、一人の強い要望で実現

「水くらい土公園」の遊歩道の整備

今回の予算で、水くらい土公園から拝島駅に向かう遊歩道の工事予算が付きました。かねてより「水くらい土公園」周辺の環境保全に取り組んできた杉山議員一人の3年がかりの要望が実現したものです。前年度予算で500万円の調査費、今年度の予算で4125万6千円の工事費が付きました。この予算のうち、福生市が出す金額は382万8千円で、ほとんどが国や都の補助金です。早速、遊歩道の土留め工事が始まります。



平成23年4月時点の遊歩道崩壊状況

一般質問

杉山議員の一般質問項目

- 1 市道街灯のLED化の進捗について
 - (1)街路灯 LED化の進捗状況について
 - (2)LED化の効果について
- 2 玉川上水にかかる橋について
 - (1)市内の橋の長寿命化のための劣化調査について
 - (2)観光資源としての橋をどのように活用しているか
 - (3)日光橋は国内最古の橋か

市道街灯LED化の進捗状況は

杉山◇昨年の補正予算で市道街灯のLED化が実施され、9月補正で2506灯、12月補正で538灯がLED化されたこと承知している。その後の進捗状況を聞きたい。

市長◆市道街灯のLED化は電気料金の削減、温室効果ガス排出量の削減等のメリットを考慮し工事を順次進めている。平成25

年度までに3044灯のLED化工事が完了している。平成26年度では、残りの356灯のLED化工事を行う。福生市ではこの2年間で市道全ての道路照明灯のLED化を完了する予定である。全ての道路照明灯をLED化するのには、東京都内では福生市が初めてとなる。また、LED灯を増やす設置要望にも応えていきたい。

LED化の具体的効果は

杉山◇LED照明は蛍光灯と同じ明るさだと約半分の電力だと言われている。取替えが完了したところは、既に電気料金に効果が出ているのではないかと思うが、現時点でどのような効果が出ているのか、電気料金の削減、維持管理の削減、CO2排出量の削減についても現段階でどのような効果が出ているのか伺いたい。

電気料金は年間3000万円の削減

市長◆東京電力は料金区分ごとの灯数に単価を乗じて算出しているので、LED化により料金区分が下がり、大幅に削減される

ことになる。電気料金の実際の削減額は、LED化工事前の10月分の請求月額が353万円だった。LED化の進捗に伴い、順次減額され、本年1月は253万円と、10月分と比較すると月額100万円程度、率にして28%の減額である。試算だが平成26年度に大型照明灯を含む356灯のLED化を予定しているもので、これが完了した後は、平成27年度の電気料金は、平成24年度に比べて年間約3000万円程度の削減が見込まれる。維持管理費についてもLED照明の寿命は9万時間、10年間なので、器具交換費用も大幅に削減される見込みである。

LED化後の温室効果ガス排出量については、試算では平成25年度に3044灯のLED化が完了すると、年間540トン、平成26年度に全ての道路照明灯のLED化が完了したとするとさらに340トン追加され、合計880トン、率にして80%ほど、平成24年度実績額に比較して温室効果ガス排出量が削減される見込みである。



一般質問する杉山議員

玉川上水に架かる橋の劣化調査

杉山◇通告に基いて、玉川上水にかかる橋について(3)項目、質問する。まず、(1)項目目、福生市が管理する橋について390万円円の予算で「橋の長寿命化に向けた劣化調査」を実施したが、その調査内容を伺いたい。

市長◆福生市には玉川上水にかかる橋10橋を含めて大小19の橋があり、全ての橋梁について、橋梁の構造安全性に関わる損傷が



杉山議員の一般質問に答える加藤育男福生市長

ないかを点検した。その結果、緊急に修繕が必要な損傷はなかったが、今後の老朽化に備え、予防的な修繕、計画的な架け替えを行って道路網の安全性、信頼性を確保したい。そのための橋梁長寿命化修繕計画を策定して6月議会に提案したい。

玉川上水にかかる橋の観光資源化について

杉山◇項目(2)、玉川上水にかかる橋を観光資源としてどのように活用する考えか伺いたい。

市長◆玉川上水にかかる橋自体にも、それぞれ異なった趣や歴史があり、市にとっても貴重な財産であり景観資源である。市では平成15年度に玉川上水とその周辺を巡る三つの散策コースを指定し、案内板や散策マップを作成した。これらのコースには老朽化などにより補修が必要な路面の誘導表示もある。今後は既存コースの誘導表示の補修とともに、福生市の貴重な財産である多摩川上水にかかる橋とその周辺の景観を楽しんでいただくために案内版の充実やPRに努めていきたい。

日光橋は国内最古の「れんがアーチ橋」か

杉山◇項目(3)、玉川上水にかかる日光橋は、道路れんがアーチ橋として国内最古の橋と聞くが。

教育長◆杉山議員がご紹介いただいた日光橋の歴史や内容は、教育委員会の見解と一致するもので、今年度の郷土資料室のホームページや展示解説シートで紹介している。

日光橋は、平成17年発行「三多摩地域における木・石・れんが橋の発展に関する研究」に詳しく論述されている。それによると、日光橋は明治24年に建設



現存する最古の道路れんがアーチ橋の日光橋

された我が国に現存する最古の道路のれんがアーチ橋とのことである。ちなみに、今でも橋の中央部分に明治時代のれんがを見ることができる。日光橋の建設にかかわる経緯や設計図、建設費等の詳細は、石川彌八郎家が所蔵する「日光橋煉瓦橋架替書類」に記載されている。既に登録文化財の候補として文化財保護審議会には報告しているところであり市登録文化財とするように諮問したい。今後、ホームページやガイドツアーを通して、最古のれんがアーチ橋が現存することをPRする所存である。

杉山◇小学校の社会科副読本に日光橋のことを記載して、福生市の貴重な文化財の現存を児童に教えるべきと思うが。

教育委員会参事◆現行の副読本に日光橋は取り上げていないが、平成26年度に副読本の改訂があるので、その際、日光橋のことを記載したい。また、福生市に転任してきた教職員に日光橋や市の史跡見学会を実施し、理解した上で子供たちの指導に当たれるようにしていきたい。